

令和3年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動関係者研修会 (県南地区：南島原市) 概要

1 日 時 令和3年7月2日(金) 13:30~16:30

2 会 場 南島原市原城オアシスセンター

3 参加者 計39名

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するために、子どもの育成に携わる地域と学校の関係者が一堂に会し、講義や実践発表、グループ協議を通して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について理解し、実践につなげることをねらいとして実施しました。

4 内 容

- (1) 講 義 ①「コミュニティ・スクールについて」
長崎県教育庁義務教育課
②「地域学校協働活動と地域学校協働本部について」
長崎県教育庁生涯学習課
- (2) 実践発表 「佐世保市小佐々地区 海光る町学園の実例」
小佐々地区地域学校協働本部
地域コーディネーター 野間 健司 氏

2小・1中学校において1つの学校運営協議会・地域学校協働本部で運営している小佐々地区における「立ち上げからこれまでの取組」、「地域コーディネーターの関わり」、「成果と課題」等についてお話いただきました。参加者からは、「学校支援会議からコミュニティ・スクールへ移行するイメージがわかりました。」「当初難しい内容かと思ったが、取組の話を聞いて地域の宝を地域の人材(サポーター)が育てる活動が参考になりました。」などの感想が寄せられました。



(3) グループ協議

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を進めていくためには、まずは、学校運営協議会(学校支援会議)等で、地域と学校が子どもを育てる共通の目標(目指す子ども像)を共有することが大切です。そこで今回、地域関係者と学校関係者がグループ協議により、地域と学校が連携・協働できることについて考えていただきました。

参加者からは、「地域の方の熱い思いを聞くことができ、地域と学校と同じ思いだと感じ、目標を共有してできることが多くあるのではないかという思いが広がった。」「意見交換ができ、他町の話が聞いて参考になった。もっとこの輪を広げて、たくさんの人に学んでほしいと思う。」などの感想が寄せられました。

